



子どもたちの原風景となる木質アーチの幼稚園 木々に囲まれた子どもらしさあふれる幼稚園全景

01. 豊かで経済的に木質空間をつくるための法的前提

■耐火建築物となる設置基準を回避した計画 ①
宮城県内の幼稚園の設置基準にある通り、幼稚園型認定こども園は、2階に保育室、遊戯室、子どもトイレを設けると耐火建築物としなければならないため、それらを全て1階に配置します。

■防火床区画による準耐火建築物の回避 ①
さらに耐火構造のCLT床を用いて建物四周に庇を巡らせることで、1,000㎡以内毎の防火床による区画を実現し、「その他建築物」とします。

02. 地域の木による子どもたちへの木育空間

■地域の木でつくる幼稚園 ①
宮城県内の工場によるCLT製材や、宮城県産材の構造材、仕上げ材をフルに用いた「Made in Miyagi」の、子どもたちが誇れる幼稚園とします。

■本物の木材で子どもたちを育む木育空間 ①②
見て触れる部分の木材は、建物であれ家具であれ地域の木材を用いることで、木に囲まれ、木を学び、木に育まれる安心で豊かな木育空間となります。

04. 子どもたちが自ら考えて遊ぶ、木々に囲まれた多様な「そと」

■陽だまりの森のような安心安全な南側園庭 ①②③
子どもたちが南側園庭を安全安心に駆け回れるように、広い平場を設けながら、敷地周辺を植栽も兼ねた塀で囲い、遊具や畑等多様な「そと」を設けて子どもたちの遊びを育みます。

■北側隣地にも考慮した緩衝空間としての北側園庭 ①②③
北側には民家があるため、隣地境界と園舎は5m程度距離を取り、互いのプライバシーのための緩衝空間として、子どもたちが遊べる築山を設け、北側でも遊べる園庭をつくります。

・バグホテル
朽木等を積み重ねたバグホテルを設けることで、季節毎の虫を観察できます。

・知育遊具/CLT
安田式遊具のように、子どもたちが自ら体を動かす遊具をCLTや木材で作ります。

・食育の「ゆうあいのはたけ」
子どもたちが作物を育て、食べるという一連の食育に活かす畑を設けます。

・広い園庭
50mトラックが取れる広さの園庭を確保し、子どもたちの活発な遊びを育みます。

・砂場
アーチ曲線をイメージした砂場として、園舎との親和性を高めます。

・子どもの築山
緩勾配で駆け回ったり、寝そべったりでき、子どもたちの健康を育みます。

03. 子どもたちの原風景をつくる木のアーチ空間

■アーチと木を合わせた子どもらしい原風景の創出 ①②
子どもらしく柔らかい表情のアーチ空間を木質でつくることで、卒園しても地元から離れたような、子どもたちの心の原風景となる幼稚園を目指します。またアーチは子どもたち同士の架け橋となります。

■木のトンネルをくぐるようなワクワク感の創出 ①②
建物妻面方向が、木のアーチが連続したような空間となっていることで、アーチのトンネルをくぐるように子どもたちが楽しく幼稚園を駆け回れます。また扉やちょっとした造作もアーチをモチーフにしていることで、子どもたちのワクワク感を創出します。



アーチと木質の柔らかい印象の外観 木のトンネルをくぐるような内部空間

05. 子どもも親も職員も使いやすい様々な計画

■エントランスと隣り合わせの便利な遊戯室 ②③
朝夕の送り迎えにエントランス付近が混雑することが想定されるため、遊戯室をエントランスホールと隣り合わせに配置することで溜まりの場として利用でき、混雑を緩和します。

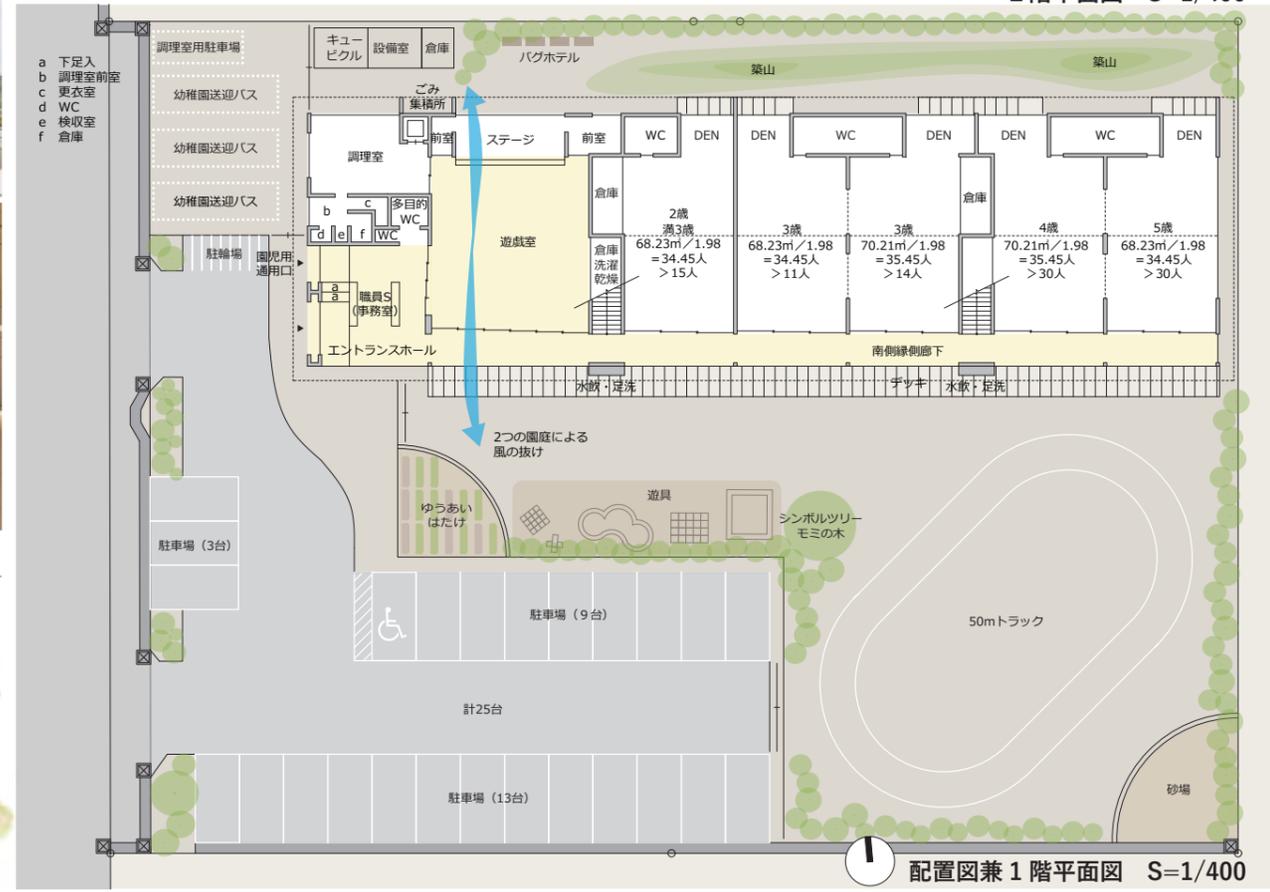
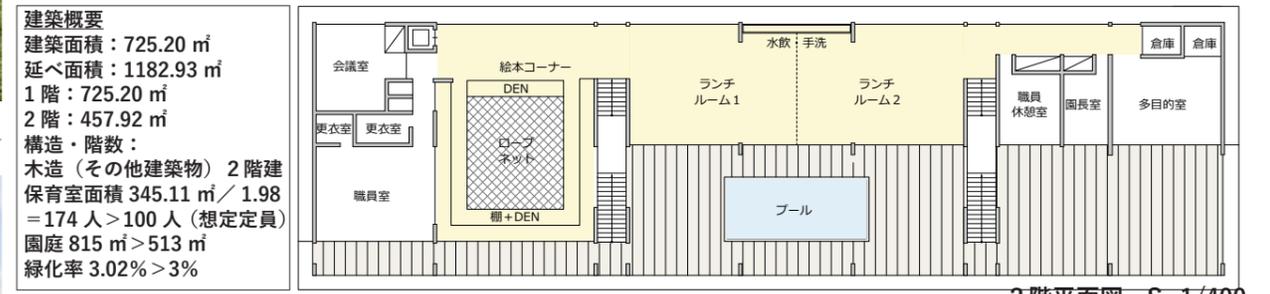
■様々な使い方が可能な広い2階ランチルーム ②③
食事会や講習会も可能な、広いランチルームを2階に設け、1階の駆け回る空間と区別します。また2方向からアクセスできることで、移動時の混雑を緩和したり、2部屋に区切って運用可能です。

■自由に使われる南側縁側廊下 ②③
南側縁側廊下は、単に移動空間だけではなく、保育室の延長として使われたり、時には園庭に開く縁側として機能したり、場面毎に多様な使い方が可能なスペースとなります。

■内外の賑わいと繋がる屋上プールと屋上広場 ②③
ランチルームより下がったレベルに屋上プールと屋上広場を設けることで、保育室ともランチルームとも園庭とも視線が通り、それぞれの賑わいと繋がるとともに、職員も容易に様子を把握できます。

■「動と静」の多様な室内遊び場の創出 ②
・ロープネット（動）
遊戯室と空間的に繋がることで、子どもたちの立体的な遊びが展開され、室内に多様な遊び場ができます。
・絵本DEN（静）
2階の絵本コーナーとロープネットの傍らに、隠れ家のような静かに絵本を読めるようなDENを設けます。

■簡易的業務作業が可能な職員ステーション ③
職員は職務の性質上、長い時間職員室には留まりません。そこで1階に必要な用途（耐火建築物回避）及び開発による面積の限定から、2階に職員室を配置し、1階エントランス付近には職員ステーションを配置して利便性を高めます。

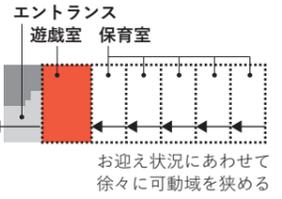


建築概要
建築面積：725.20㎡
延べ面積：1182.93㎡
1階：725.20㎡
2階：457.92㎡
構造・階数：木造（その他建築物）2階建
保育室面積 345.11㎡ / 1.98 = 174人 > 100人（想定定員）
園庭 815㎡ > 513㎡
緑化率 3.02% > 3%

06. 保育のしやすい建築計画 (大人目線)

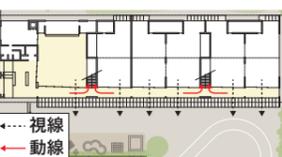
■夕方迎え時の保育効率化 ③④

夕方以降、**子どもの人数減少に伴い保育ゾーンを限定し**、保育人員の削減を図ります。また空調や電気等も使用ゾーンに限定し、ランニングコストを低減します。



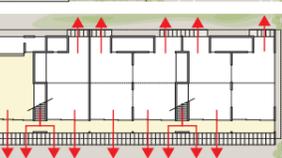
■保育動線の簡略、効率化 ③

南側縁側廊下により全ての保育室と園庭を一望でき、また2つの階段により上下動線を効率化することで、**短い動線で保育や会議等の管理運営が可能**になります。



■緊急時避難しやすい計画 ②③

園舎にバランス良く配置された2つの階段や、南側縁側廊下のサッシは開放できるため、**緊急時に2階から1階、室内から園庭への避難が容易に可能**です。



■子どもと職員の明快な領域区画 ②③

1階は主に子どもの空間、2階は東西の端を職員の空間として、**子どもたちの賑わいの中にも、職員が落ち着いた環境で休憩したり作業ができるよう配慮**します。



■調理室の効率的動線と見える化 ②③

調理室は搬入動線を考慮した北西部に配置し、**遊戯室から見える化して食育の一環**とします。またリフトにより効率的な動線でランチルームへと配膳できます。



07. 自発性の遊びを育む計画 (子ども目線)

■東西に視線が繋がり遊びまわれる安心感 ①②

1階も2階も、東西に長い園舎の端から端まで子どもたちが移動でき、木の空間の中を視線が抜ける構成とすることで、**死角をつくらず安全安心に、広い室内領域を遊びまわることが**できます。



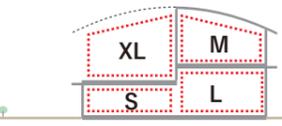
■子どもたちの健康を育む2つの象徴的な階段 ②

園舎の中心に位置する2つの象徴的な階段は、動線の利便性だけでなく、子どもたちが階段を利用して遊んだり、座ったり、おしゃべりしたり、**楽しみながら健康を育む場所**として存在しています。



■S,M,L,XLの場所 ②

子どもは遊びの天才と言われ、様々な空間を知覚します。保育園にもそれぞれ高い低いがあることで、**考えながら空間を使いこなし、自発性を**育みます。



08. 可変的なセキュリティによる多様な使われ方

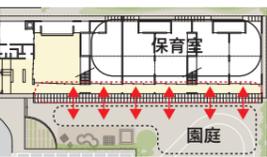
■保育室と園庭の一体利用 ②③

1階に保育室が横並びしていることで、園庭と内外による一体的な使い方が可能です。例えば**運動会やバザーの際の休憩所や運営スペース**として使えます。



■南側縁側廊下と園庭との一体利用 ②③

普段から物が溢れる保育室は閉じ、南側縁側廊下と園庭を開放することも可能です。例えば**子どもたちのダンスを親御さんが縁側で眺める**ことが想定されます。



■遊戯室のみを開いた使い方 ②③

保育室や南側縁側廊下、階段は閉じ、遊戯室と園庭のみを開放することで、例えば**音楽会や講演会が行われ、園庭はそのホワイエ的に用いる**ことができます。



■園舎を閉じた園庭開放 ②③

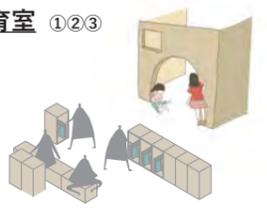
園舎全体を閉じ、園庭開放だけを可能にするために、園庭へのゲートを2箇所設け、**車利用者**と**自転車利用者**を分けつつ、**混雑も解消**します。



09. 園舎全体を捉えた保育室の計画

■子ども用家具やDENが充実した保育室 ①②③

子どもたちの秘密基地となるようなDENを設け、**自ら選択できる多様な居場所**をつくります。また子どもでも扱える木の椅子や机、本棚等様々な家具を用意することで、**道具の扱いや知育にも繋がります**。

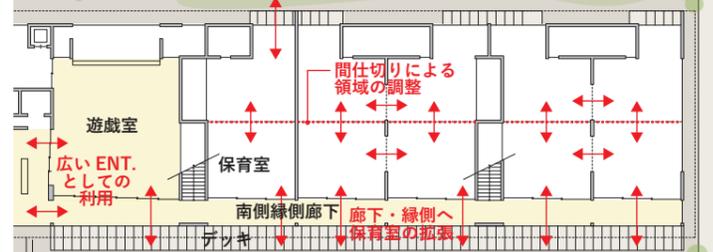


■保育室の延長としての南側縁側廊下 ②③

保育室は横並びとして年齢毎の保育に加え、**異年齢間の遊びを積極的に採り入れます**。また南側縁側廊下が保育室に取り付くことで、**保育室が広がったような、+αの空間**として保育の幅が広がります。

■子育て支援や一時預かり保育にも使える活きた遊戯室 ③

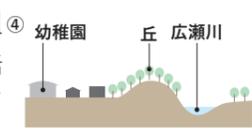
遊戯室はエントランスホールと隣接し、**広くまとまったスペース**であるため、2階のランチルームと使い方を考慮しながら、例えば**子育て支援や一時預かりの保育室**としても機能し、「**活きた遊戯室**」とします。



10. 地球環境に優しい環境設備・維持管理計画

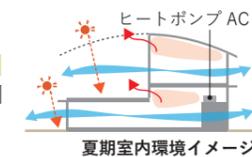
■気候風土、地形を活かすエコな幼稚園 ④

地域環境や技術、地形的条件、建築形態を活かし、従来に比べて**一次エネルギー消費量を50%削減し、ZEB Readyを達成**します。

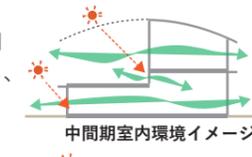


■季節毎のパッシブな断面計画 ②③④

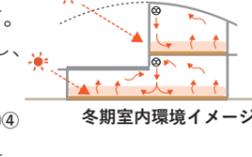
・夏期
ヒートポンプACにより居住域を空調し、**上部の熱溜まりは高窓から排熱**することで空調負荷を下げます。



・中間期
自然光と自然通風を取り入れ、高低差を利用した重力換気により**快適な室内環境**を実現し、**設備機器に頼らない自然の幼稚園**とします。

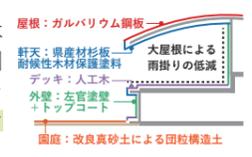


・冬期
南側開口部と高窓から**自然光を取り込み**ます。またACに加え、**補助暖房には床暖房**を採用し、ファンを用いて居住域を効率的に温めます。



■高いメンテナンス性材料による被覆 ①④

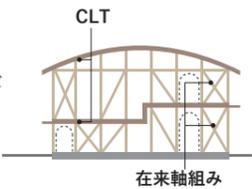
外壁や屋根、軒裏には**耐久性、耐候性の素材**や塗料を用い、軒庇によって雨や直射光による外壁劣化を防ぎます。またデッキは人工木を用いてメンテナンスフリーとし、園庭は**団粒構造土**により、保水性・透水性・水はけを良くします。こうして全体を**高いメンテナンス性**で覆い、維持管理を容易にします。



11. 合理的で子どもらしさを残した構造計画

■CLT床と在来軸組み壁による合理的な構造 ①④

みやぎCLT 建築普及促進事業補助金の要件である、建築における木材量の半分以上をCLTとすることを満足するために、2階及び屋根スラブにCLTを用います。壁は在来軸組み構法で作り、**過剰なCLT利用を抑え、金物等接続部の合理化**を図ります。



■子どもらしいCLTのアーチ型屋根 ①②④

妻面方向をアーチ型の壁(在来軸組み)で構成するとともに、屋根もCLTによるアーチ型屋根とすることで、**子どもらしさを表現**しつつ、無駄な天井高さ、気積を抑えます。



■CLT端材による家具や遊具 ①④

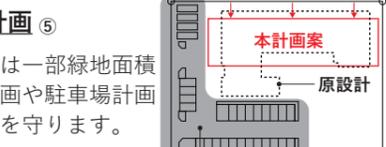
CLTの歩留まりを考慮し、**端材を家具や遊具に再利用**することで、CLTを余すことなく使い切り、SDGsの考えに寄与します。



12. 開発計画を最大限遵守した手順の簡略化

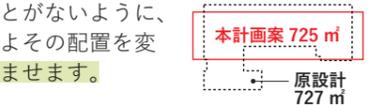
■変えない排水及び駐車場計画 ⑤

既存の開発計画を遵守し、外構は一部緑地面積を変更する程度に留め、排水計画や駐車場計画は**変えずにスムーズな設計手順**を守ります。



■建築面積を微減させた北側園舎配置 ⑤

各種インフラ位置を変更することがないように、**建築面積を微減させながらおおよその配置**を変えずに、**開発を軽微な変更で済ませ**ます。



13. 設計プロセスの分かりやすく明快な共有

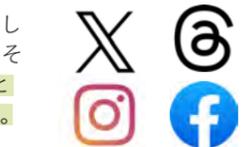
■事例・知見や経験、空間共有のための様々な手法 ⑤

国内外の最新事例のサーチを行い、得られた知見の具体的なイメージを共有します。また図面だけでなく、**模型やCG、VR等を使い、説明資料を極力ビジュアル化**することで、**関係者全員と空間の認識・理解を共有**します。



■開かれた設計プロセス (WS: ワークショップ) ⑤

計画段階から関係者全員に設計を十分に理解してもらうため、対話やWSを積極的にを行い、その過程を**SNSやウェブサイト**で公開することで、**みんなに開かれた設計プロセス**とします。



14. みんなでつくる過程で繋がりを生む工程

■「みんなでつくる」を実現させる取り組み方 ⑤

設計の各フェーズに合わせて様々な意見を汲み取る設計ワークショップを開催し、利用者目線に立った要望や問題点を同じ目線で共有します。また設計ワークショップのみならず、家具・外構ワークショップ等を通して、**関わる様々な人の手が繋がり、この場所をつくっていく「みんなで育み、誇れる幼稚園」と**します。



■スケジュールの見える化とフロントローディングの徹底 ⑤

計画にあたり、**いつ何を検討するの**かを明確にする「ロードマップ」を作成し、**早期の与条件整理**と関係各所との迅速な合意形成を行い、基本設計で懸念事項を精査する**フロントローディング**を徹底します。

	2024 (R6)												2025 (R7)												2026 (R8)			
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4					
法人(幼稚園)	設計との打合												施工業者選定(入札等)												開園準備			
行政	開発(軽微変更)CLT 支店 援手												確認申請												完了検査 検査済証			
設計	基本設計												実施設計												監理			
施工	概算												概算												構築			

